

もしも知らなかったのなら、行くのは止めよう

総ての運転手・総ての子供たち・いつでも



見守ろう！

車を動かす時は、子供がどこにいるか。近くにいるか？見える所にいるか？または車の中にいるかを確認しよう。車の中に子供を放置しない。



仕切りをつけよう！

フェンスや自動で閉まるゲートで、ガレージやドライブウェイと遊ぶ庭を仕切りをしましょう。車のドアは常にロックしておきましょう。



よく見てチェック！

運転手は、車を運転する前に、車の周りを歩いてチェックしましょう。バックミラーやリバーサカメラやセンサーなどで子供を常に確認しましょう。

・・・ファーストファクト・・・

6

乳幼児

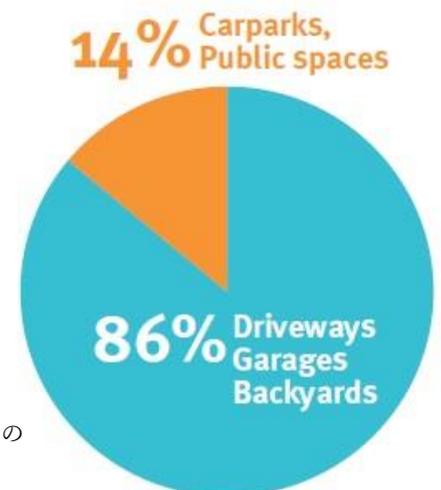
過去12か月で、1～4歳までの幼児がドライブウェイや駐車場で引かれて亡くなった人数

ドライブウェイや駐車場の事故は、プールでの溺死と同様に、この年齢の子供たちに多くある防ぐことの出来る事故です。特に1～2歳の子が最もリスクが高い、といわれています。

低速での死亡事故



それ以上に多くの子供たちが毎年負傷しています。



情報元：クィーンズランド児童死登録より



常に子供がどこにいるか車を動かす前にチェック

- 運転手は、常に子供をチェックしましょう。
- 子供を車の傍に放置することは止めましょう。
- 車の傍では、子供の手を取りましょう。
- 車を動かす前に常に車の周りに子供がいないかチェックしましょう。
- 周りに手伝ってくれる大人がいない場合、自分で子供を車の中に入れましょう。



子供為に安全な遊び場を確保しましょう。

- ドライブウェイを遊び場にしない
- ドライブウェイから隔離された安全な場所で遊ぶ
- ゲートやフェンスで遊び場を仕切ることを考えましょう
- ドライブウェイやガレージへの出口の扉などは、常に閉めておきましょう
- ガレージに出る内側のドアにもベビーゲートを設置しましょう。



子供に見て、聞いて安全確保を教えましょう。

- 大人は子供の安全に対して責任があります。しかし、彼らに安全対策を教える必要もあります。
- 車のリバーライトをチェックしましょう。
- 車のエンジンの音を聞きましょう。
- 動いている車からは離れましょう。
- 車の傍やドライブウェイで遊ぶのは止めましょう。